



くれよん

にぎみ

4月の進級からあっという間に過ぎたこの1カ月。

環境が変わったことによる嬉しさや緊張から様々な子どもの姿が色々な場面であったかと思います。ですが、子どもの中に見えない疲れや思いもたくさんあったはずですので、日々の様子を共有しながら引き続き一緒にこども達の姿を見守っていかれたらと思います。

年長になり、お茶のお稽古が始まったり年長ならではの行事が一年の中にいくつか入ってきます。その中で自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたり、あるいは人の話を静かに聴いたりじっと座っていたりと様々な体験が待っています。そういった一つ一つの場面で子ども達が困ることが無いようにするために、例えば朝のおあつまりの中でお休みの日にどんな事を過ごしたかという生活発表や、体幹を使った体操、集団あそびとしてのわらべうたなどを通して今後必要になってくる姿の土台が育っていけるようにしたいと思っています。



朝のおあつまりで何をするの？

上の文章でも書いていますが、朝のおあつまりでは当番活動の他に生活発表や体操、わらべうた、文学や絵本の読み聞かせなど様々な事をしています。その日その日で違う事をしながら、朝のおあつまりを楽しく過ごせるようにしています。

生活発表では、お休みの時にどんな事をしたのか。などを話してもらいます。時間や場所の理解だったり、人前で話す事の練習だったり、順序だてて話す練習にもなります。また、相手の話を聞こうとする意識も大事になってきます。

わらべうたは集団あそびと1対1で行うものがあります。集団でも1対1でも、ルールを守って友だちと遊ぶ楽しさを感じられたり、相手に合わせようとする気持ちを感じたりすることが出来ます。覚えうたを口ずさむ事も♪

文学には色々あり、言葉あそびや積み重ね話といった言葉の並びや響きを楽しむものから、単純な物語もいくつかあります。大人の声をよく聴いて覚えようとしたり、言葉の意味を考えたりと言葉への興味に繋がってくる事もあります。